

# 牛久沼のほとりへ橋を架ける

～住井すゑ文学館開館事業を記念して～

2023年3月18日（土）13:30～17:00

東海大学湘南キャンパス 11号館 11-206 入場自由・無料

住井すゑはベストセラー『橋のない川』などで知られる作家です。昭和10年（1935）より夫であり同じく作家の犬田卯と茨城県牛久市城中町に住み、作家活動を終生続けました。

2021年11月に住井・犬田の旧邸宅を改修した牛久市住井すゑ文学館が開館しました。東海大学文学部日本文学科は、旧邸に残された歴大な資料群の調査研究・整理に開館前より携わっています。この作業は開館後も継続され、本年度より科学研究費助成事業の研究課題として採択されました。

本シンポジウムでは牛久市教育委員会のスタッフを交え、文学館の設立と運営、所蔵資料の保存・整理、文学作品と資料に関わる調査・研究といった豊富な論点から発表・ディスカッションを行ないます。官学連携の橋をかけ、地域の文化事業と文学研究とが交差する〈社会〉と〈学問〉の豊かな関係性を考える機会となることを目指します。

## 〔プログラム〕

司会：安達原達晴

13:30 開会の挨拶：伊藤一郎（東海大学名誉教授）

13:40 発表1：木本挙周（茨城県牛久市教育委員会文化芸術課）

14:00 発表2：有菌舟仁（茨城県牛久市教育委員会文化芸術課）

14:20 発表3：飛鳥川みつき（茨城県牛久市教育委員会文化芸術課）

14:40 休憩（10分）

14:50 発表4：安達原達晴（東海大学文学部日本文学科講師）

15:10 発表5：千金楽 健（東海大学文学部日本文学科非常勤講師）

15:30 発表6：早乙女牧人（東海大学文学部日本文学科非常勤講師）

15:50 休憩（10分）

16:00 ディスカッション



主催：東海大学文学部日本文学科

共催：牛久市住井すゑ文学館

〔お問い合わせ先〕

東海大学文学部日本文学科 安達原達晴

E-mail：at868644@tsc.u-tokai.ac.jp

## 〔発表概要〕

### 「住井すゑ文学館整備事業基本方針及び経緯について」木本挙周

牛久市住井すゑ文学館開館までの道程などを、事業に携わった当事者の視点から語る。

### 「住井すゑ文学館資料整理の現状と展望」有菌舟仁

住井すゑ文学館の資料の状況や保管、整理作業の実際について報告する。

### 「『ない』といわれた資料を探し求めて～住井すゑ関連資料の発掘」飛鳥川みつき

関係者から「重要な資料は残されていない」と言われていた旧住井すゑ邸。だが実際に共同調査したところ、予想以上に見つかった資料について報告する。

### 「住井すゑ作品関連草稿をめぐり」安達原達晴

残された草稿から何が分かるのか。これまでの調査研究の成果や新資料に触れつつ、文学作品を新たな角度から照らすことを試みる。

### 「『橋のない川』の基本設定 タイトルと時代の機能」千金楽健

社会状況と物語の関係性という視座から、住井すゑ『橋のない川』を捉える。

### 「曼珠沙華の人～俳人平本くらら～」早乙女牧人

現在、忘れられつつある俳人平本くららの経歴などに触れながら、平本くららと住井すゑとの関係について、住井すゑ文学館が所蔵する資料を交えて紹介する。

【交通アクセス】 ※自動車でのご来場はご遠慮ください。

[小田急電鉄]

小田急線（新宿より快速急行約 60 分、小田原より約 25 分）「東海大学前」駅下車徒歩約 15 分、または『秦野駅行き』『下大槻団地行き』バス（約 5 分）で「東海大学北門」下車すぐ

[JR 東日本]

JR 東海道線「平塚」駅下車『東海大学行き』または『秦野駅行き』バス（約 30 分）で「東海大学正門前」下車徒歩約 5 分

◎新型コロナウイルス感染症防止のため、ご入場の際はマスクの着用をお願いします。また、ご体調がすぐれない場合はご来場をお控えください。



このシンポジウムは科学研究費助成事業「旧住井すゑ・犬田卯邸宅資料の調査研究に基づく〈文学と社会〉の包括的考察」（基盤研究（C）22K00348）の成果の一部である。